【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和7年2月6日(2025.2.6)

【国際公開番号】WO2023/248830
【出願番号】特願2024-528803(P2024-528803)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｋ　1/02(2006.01)
Ｈ０５Ｋ　3/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｋ　1/02　　Ｊ
Ｈ０５Ｋ　1/02　　Ｂ
Ｈ０５Ｋ　3/00　　Ｔ

【手続補正書】
【提出日】令和6年11月29日(2024.11.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
厚み方向に相対する第１主面及び第２主面を有する伸縮性基材と、
前記伸縮性基材の少なくとも前記第１主面側に設けられ、かつ、前記厚み方向に直交する長さ方向と前記厚み方向及び前記長さ方向に直交する幅方向とを含む面方向に延びる少なくとも１つの伸縮性配線で構成される配線部材と、を備え、
前記配線部材は、前記長さ方向にともに延びる、第１配線部及び第２配線部を含み、
前記第１配線部は、外部への電気経路を構成し、
前記配線部材において、前記第２配線部の前記長さ方向における引張強度は、前記第１配線部を含む前記第２配線部以外の部分の前記長さ方向における引張強度よりも低く、
前記第２配線部の構成材料は、前記第１配線部の構成材料と異なっている、ことを特徴とする伸縮性配線基板。
【請求項２】
厚み方向に相対する第１主面及び第２主面を有する伸縮性基材と、
前記伸縮性基材の少なくとも前記第１主面側に設けられ、かつ、前記厚み方向に直交する長さ方向と前記厚み方向及び前記長さ方向に直交する幅方向とを含む面方向に延びる少なくとも１つの伸縮性配線で構成される配線部材と、を備え、
前記配線部材は、前記長さ方向にともに延びる、第１配線部及び第２配線部を含み、
前記第１配線部は、外部への電気経路を構成し、
前記配線部材において、前記第２配線部の前記長さ方向における引張強度は、前記第１配線部を含む前記第２配線部以外の部分の前記長さ方向における引張強度よりも低く、
前記伸縮性基材は、前記長さ方向に直交する断面を見たときの断面積が最小である狭小部を有し、
前記第２配線部は、前記厚み方向から見たときに前記狭小部に重なる位置に設けられている、ことを特徴とする伸縮性配線基板。
【請求項３】
前記第１配線部及び前記第２配線部は、互いに異なる前記伸縮性配線に設けられている、請求項１又は２に記載の伸縮性配線基板。
【請求項４】

前記第１配線部及び前記第２配線部は、互いに同じ前記伸縮性配線に設けられている、請求項１又は２に記載の伸縮性配線基板。
【請求項５】
前記第２配線部の前記長さ方向における寸法は、前記第１配線部の前記長さ方向における寸法の１％以上、５０％以下である、請求項４に記載の伸縮性配線基板。
【請求項６】
前記配線部材の前記長さ方向に直交する断面を見たとき、前記第２配線部の断面積は、前記第１配線部の断面積よりも小さい、請求項１又は２に記載の伸縮性配線基板。
【請求項７】
前記第２配線部の前記幅方向における寸法は、前記第１配線部の前記幅方向における寸法よりも小さい、請求項６に記載の伸縮性配線基板。
【請求項８】
前記第２配線部の前記厚み方向における寸法は、前記第１配線部の前記厚み方向における寸法よりも小さい、請求項６に記載の伸縮性配線基板。
【請求項９】
前記伸縮性基材は、前記長さ方向に直交する断面を見たときの断面積が最小である狭小部を有し、
前記第２配線部は、前記厚み方向から見たときに前記狭小部に重なる位置に設けられている、請求項１に記載の伸縮性配線基板。
【請求項１０】
前記伸縮性基材の前記第１主面及び前記第２主面の少なくとも一方を覆う保護部材を更に備えている、請求項１又は２に記載の伸縮性配線基板。
【請求項１１】
前記伸縮性配線基板の使用中における前記第２配線部の通電状態を確認する検知部と、
前記検知部によって確認された前記第２配線部の通電状態の情報に基づいて、前記第２配線部の断線有無を判定する判定部と、
前記第２配線部の断線を検知したという情報を発信する発信部と、を更に備えている、請求項１又は２に記載の伸縮性配線基板。
【請求項１２】
前記第２配線部の断線を検知したという情報を前記発信部が発信したことに連動して、前記第１配線部への電流供給を停止する制御部を更に備えている、請求項１１に記載の伸縮性配線基板。